



きかんし

ぼくだい

北海道大学教職員組合機関紙

電話 011-746-0967(FAX 共通)／内線 2083・3994

URL: <http://ha4.seikyou.ne.jp/home/kumiai/>

発見 ことに 労働組合がある！

執行委員長 間宮 正幸

去る6月4日～5日、札幌の《かでる2.7》で「第24回非正規ではたらくなかまの全国交流集会」があった。昨年、私は、人権無視に等しい非正規で働く北大職員の数の多さと不安定さに義憤を覚えて執行委員長に立候補したようなものだが、集会に参加して本当によかった。「そうなのだ！」と、素直に合点し感動を覚えた。

「この仕事が好き、この仲間が大好き、つないだ手をはなさずに、ずっとずっとはたらき続けたい」と合唱する参加者の中には若い世代も多かった。私たちは、全労働者の4割を占める非正規雇用者の問題を決して無視できないのだと思う。

北海道ではこのところ医療、福祉などの職場で労働組合が増えているというから驚きだ。記念講師の中野晃一氏（上智大学・政治学）による「戦争するためには貧困層をつくる必要がある」の言葉にドキッとし、「世襲議員による貴族政治のごとき寡頭支配をやめさせ、いのち・雇用・平和を守る政治をとりもどそう」という呼びかけが「職場から」発信されているように思われ心地よかったです。

パワハラの対応でも「労組だからこそ」という具体的な事例にたくさんふれることができた。

大学では、「自分たちの職場で労働問題が発生してはいないか」という研ぎ澄まされた本来の「労組的感覚」が鈍っているのかもしれない。そう思っていただけに、この集会は「組合は職場から」という基本を私に教えてくれた。

それを具体的に議論して進めていく北大職組でありたい。

非正規で働く仲間の

6月4日～5日
札幌で

全国交流集会開かる！

— 北大からも非正規職員の待遇改善の声を！ —

今月の4日及び5日、札幌市内かでる2・7で「第24回非正規ではたらくなかまの全国交流集会」がひらかれ、参加者数は2日間の日程でのべ960人ものひとが参加されました。北大職組からも間宮委員長をはじめ、4名が参加しました。

1日目は、全体プログラムとして上智大学教授の中野晃一さんが、「いのち・雇用・平和をまもる政治をとりもどす」と題して講演し、「使い捨て社会に未来はない、労働運動や市民運動の盛り返しがカギを握っている。」と述べました。また、トークセッションでは「いま政治が戦争をするために格差と貧困をもちこみ、人と人がつながりにくいものにしてしまっている。自分が普通だと思っている人へ貧困と格差はあなたの問題なのだということを、非正規の問題を自分たちの（組合）の問題として、非正規の人に組合員を増やし組合を大きくしよう！」呼びかけました。

2日目は、15もの分科会があり、どれも非正規で働くひとの切実な問題をとりあげ、熱心な討論を行いました。第6分科会では、「非正規労働者の雇い止めとたたかう」というテーマで話し合い、札幌の北星大生協で60歳を過ぎて突然首切り（雇い止め）があり、組合が団結して交渉し雇い止め撤回をかちとった話とか、大日本印刷や日産労組などの実際に裁判でたたかっている実態も報告されました。北大からも昨年10月に実施した非正規職員アンケートの結果をもとに北大病院の労働実態を報告すると、参加者から「道労連などで取り上げて全体の問題にすべき」との意見もだされました。2日間を通じて、ゆがんだ政治によって貧困と格差が持ち込まれ、非正規労働者が苦しめられている実態が明らかとなりました。

以下に、当日集会会場で歌われた「つないだ手離さずに」の詩をご紹介いたします。 （執行委員 村上 毅）



つないだ手 離さずに
この仕事が大好き この仲間が大好き
つないだ手はなさずに ずっとずっと
はたらき続けたい
やさしい 風を感じながら
毎日を過ごしている
いつもと同じ この場所で
素敵な笑顔があふれる
わたしたちだって 仕事をささえる
誇りを持っている だから
この仕事が大好き この仲間が大好き
つないだ手はなさずに ずっとずっと
はたらき続けたい

五月晴れ、北大職組も参加しました！

メーデーに集う！



5月1日(日)に第87回メーデーが行われ、五月晴れのメーデーとなりました。会場は、中島公園のなかで開催され、40団体3500人の参加でした。集会開催まえには、恒例の人文字「NO! WAR!」がつくれられ、上空からセスナで撮影されました。北大関係は、今年も現役組合員をOB組合員の参加が上まわりましたが、久々の再会をよろこび合いました。昨年の安保法制強行を受け、戦争法廃止の運動がたかまる中、北海道5区補選で大健闘した池田真紀さんも登壇してあいさつを行いました。安倍暴走政治を批判する横断幕やプラカードが目立ち、怒りが会場に満ちあふっていました。集会後デモ行進を行い、デモ終了後には、北一条の居酒屋で恒例の北大交流会が22名の参加で開かれました。今年も、まもなく100歳をむかえる小野寺先生(元組合委員長)が顔をみせ、元気にあいさつされました。会場では、北大職組の発展を願う声が、あちこちから聞かれました。年に1度の恒例行事ですが、組合員OBからの励ましを受け、組合運動の発展への誓いを新たにする1日になっています。(M)



全大教技術職員部会ひらく

協議採用増加で

キャリア積んでも給料が安い！？

6月5日に全大教定期大会と教研集会開催に向けて全大教技術職員部会が行われました。2015年度の取り組み報告(案)と2016年度活動方針(案)及び教研集会の技術職員分科会のテーマが話し合われました。

2016年度方針では、引き続き、昇格改善に重点をおいて取り組みます。昇格改善には、管理職的ポストによる上位級の獲得や昇格基準の改正が必要です。いくつかの大学で技術職員組織の改組により、全学一元化の動きがあります。技術職員組織を利用した上位ポストの獲得などの昇格改善をめざします。「技術専門職員3級:34才 在籍2年」、「技術専門職員4級:47才 在籍11年」、技術職員全員の5級退職や6級以上への昇格を実現できるように単組間の情報共有を進めます。9月に開催される教研集会で技術職員分科会を開催し各単組の経験交流に活用します。また、近年、技術系区分の試験採用の応募者の減少や合格後の辞退者の増加により各大学で協議採用者が増えています。しかし、協議採用者は、試験採用による「新卒採用者より初任給の格付けが低くなり、さらに社会でキャリアを積んだ人ほど格差が拡大する問題が話題となりました。このため今後、全大教で初任給の格付け基準の調査を行う必要性を確認しました。この他に再雇用職員がフルタイムで勤務できない大学があることに関しても各大学の再雇用職員就業規則を調査していくことも確認しました。

(農場班 佐藤浩幸)

(アンケート) 国立大学病院の看護労働の実態



看護師の疲労 (北大病院)

「とても疲れる」45%

昨年10月、全大教が「国立大学病院看護職員の労働環境改善に向けて」アンケート調査を行ないました（この調査に北大病院の看護師389名が回答）。本年5月24日、そのアンケート調査の中間結果が発表されました、その中から北大病院看護師の実態について抜粋して報告します。

I. 健康と疲労について

1、疲れ（身体及び精神） 有効数385名

身体的疲れ「とても疲れる」は45%（一般労働者は14.1%で3倍です）、「余り疲れない」は2%でした。
精神的疲れ「とても疲れる」47%（一般労働者は17.3%で2.7倍です）、「余り疲れない」は2%でした。

2、夜勤回数について（三交替のみ） 有効数299名

9月の夜勤回数は、人事院判定である「8日以内」は43%、「9日以上」が57%で半数以上でした。

Ⅱ、安全・安心の看護について

1、ナースコールやモニター、レスピレーター等のアラーム時、ナースステーションに誰もいないことがあるか

有効数366名

「よくある」17%、「時々ある」43%、「稀にある」25%。「ない」は14%と非常に少ない現状です。

2、業務が多すぎて、或いは忙ることがあるか 有効数379名

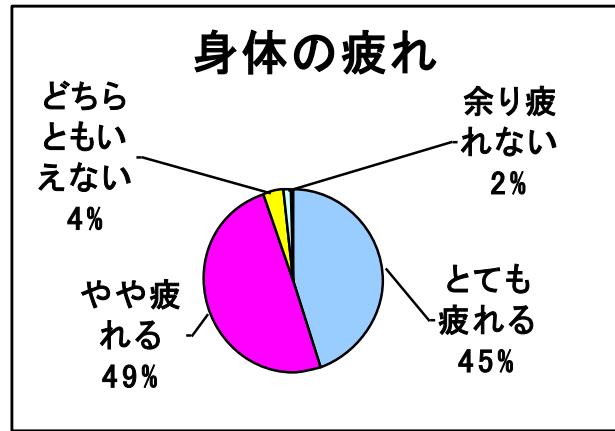
「よくある」9%、「時々ある」36%、「稀にある」34%。
「ない」は21%です。

3、4~9月で、インシデント
あったか 有効数380名

「あった」76%、「なかった」24%。

4、あつた方（何回あつたか） 有効数285名

「1~3回」79%、「4~6回」18%、「7~9回」2%、「10回以上」1%。



袴田 巍 ドキュメンタリー映画

夢の間の世の中

さて、私も冤罪なれど死刑囚

「SAYAMA」監督 金 聖雄 最新作

6月26日(日) 11:00~

札幌プラザ2・5 中央区南2西5 狸小路5丁目

チケット代 1300円